

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2020・12月号

石川県学校生協創立71年目（信頼・安心・安全・適正・平等・協働・貢献）

今、必要なことは、「自助」ではなく「共助」だ！

石川県学校生活協同組合理事長 細野祐治

新型コロナウイルスの感染が、第3波に入り、報道によれば石川県には中央より1か月遅れで入るようです。そのために、石川県学校生協では、感染者を出さないために、当分の間30人以上の集会は計画しない、参加しないを再度実施します。ご迷惑をおかけする方もおられると思いますが、食品を扱っている以上感染者を職員から出すわけにはいけませんので、許してください。

一方、このコロナ禍において、石川県学校生協ができる社会貢献の一つとして、新たな取り組みを実施します。それは、コロナ禍によって販売量が減少している商店・組合の商品を取り上げ、販売することです。今回は、加賀地区では「中谷製麺のラーメン」、金沢地区では「金石町商店協同組合舟木屋の塩こうじ」、能登地区では「珠洲市正院町カフェどんぐりのいちごジャム」の3つです。ラーメンは半生麺8食で税込1,798円、塩こうじは200mm×2本で税込699円、ジャムは130g×2個で1,252円です。受付締め切りは12月11日です。チラシを配布しますが、届かない組合員の方は、石川県学校生協事業部（電話076-288-2500）まで連絡して下さい。

学校生協ができる「共助」の取り組みです。ご協力をお願いします。（合掌）

10月単月の経常剰余は計画より54万円下回りましたが前年より85万円改善！

石川県学校生協の10月累計では、経常剰余638万円の赤字となっていますが、予算差+129万円、前年差+190万円となりました。事業剰余は予算比で、通信共同購入118%（予算差+92万円）、フレッシュ共同購入112%（予算差+267万円）で、2桁の超過達成となりました。しかし、営業、指定店は先月に引き続き大きく予算を割りました。また、受取手数料の減少も続いています。11月、12月は供給増が期待されます。年末に向けギアチェンジし、職員一同さらに頑張りますのでよろしくお願いいたします。

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

「アテナイの学堂」 北本 豊春



編集後記

陽は昇り、陽は沈む。12月10日が境目

この題名が何を意味するか、分かった方は流石（さすが）ですね。今年12月10日が境目で太陽の沈む時刻が逆転します。現在は徐々に太陽が沈む時刻が早くなっています。

12月10日金沢の日の入りは16時37分です。それが12月11日の日の入りは16時38分となり、この日から太陽は遅く日の入りをしていきます。そして一番遅い日は2021年**7月10日**で19時14分です。

ついでに、日の出の時刻を調べてみますと、12月1日の日の出は6時46分です。来年の2021年**1月12日**の日の出は7時5分が一番遅く、逆転が始まるのは1月13日の7時4分です。そして、**6月19日**の日の出は4時34分が一番早い日になります。この時刻に合わせて私の農作業の時刻が決まっていきます。（道祐）